



クラブ活動紹介 22



アカペラによる合唱の素晴らしさを再確認させてくれる世田谷キャンパスの合唱団「グリークラブ」と、
横浜キャンパス内の保存緑地の一部を整備・管理している「Eco-Works」。
今回はこの両団体の活動状況をレポートします。

体育会系顔負けの練習量！音痴でも歌が好きなら絶対上達する

グリークラブ



顧問：増澤信義(電子通信工学科教員)
学生責任者：青柳雄介(機械工学科2年)
部員数：12名(うち女子3名)

主な活動

- 4月 入学式出演 / 新入生歓迎会
- 5月 文化団体連合フェスティバル
- 7月 前期納会
- 9月 夏合宿
- 11月 MI-TECH祭
- 12月 横浜キャンパス チャリティーコンサート / 品川区合唱祭 / 世田谷区合唱祭

▲平成16年10月16日に行われた
創立75周年記念式典ではOBとともに校歌を斉唱

部員数激減による存続の 危機を乗り越え、再び活発に 動き始めた新世代合唱部

グリークラブの“グリー”とは、本来は男性による無伴奏合唱のこと。ただし現在の武蔵工大グリークラブは、男性だけの団体ではなく、女性も含めた混声合唱団。部が創立した頃の武蔵工大は男子学生が圧倒的に多かったためこの名称が用いられたそうです。じつは他大学の歴史ある合唱部や合唱サークルなどにも、この名称はよく見られます。「グリークラブの歴史は約50年。先輩から聞くところによると、武蔵工大の中では自動車部に次いで古いそうです。現在、団体の実態とグリーという名称とが一致しませんが、先輩たちが守り抜いてきた名称ですから、おいそれと変えるわけにはいかないですね」(青柳雄介くん・部長)

長い歴史のすべてが順風満帆というわけではなく、団体としてかなり激しい浮き沈みを経験しているよう。60人以上の大所帯だった時代もあるかと思えば、たった4人の部員しかおらず存続が危ぶまれた時期も……。「部員が多かったのは、日本の若者たちの間で、合唱がちょっとしたブームだった時期。今まで2回くらいあったみたいですね。そういった時期はどこの合唱部も盛況だった模様。どこ

の合唱団体も縮小傾向にある現在からは、ちょっと想像できませんが、いま私たちはフルメンバーで12人。全盛期には及びませんが、少しずつ盛り返してきたところでしょうかね」(坂本千尋さん・学生指揮者)

数年前にテレビの某バラエティ番組で、全国の高校生チーム同士がアカペラによるハーモニーの美しさを競うコーナーが大人気を博しました。番組から実際にプロデビューを果たしたチームも生まれたほどです。「あの番組やカラオケの影響で、合唱すること、“ハモる”ことに興味をもった人は増えているはず。実際ボクもそうでした。高校時代まではスポーツ一筋だったのに、なぜか気が付いたらここに入っていたから。今は我がクラブが大きく躍進するチャンスなのかもしれないね」(高須俊之介くん)



いつも冷静沈着。大地が避けようとも動かない(?)中島新くん(電子情報3年)はベース担当



練習を取り仕切る学生指揮者の坂本千尋さん(機械2年)。同部のムードメーカーです。合唱ではソプラノ担当